

## 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2007年7月5日号

©2007年5月大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年5月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

- 1 東北の大豆播種はおおよそ終了、全国の播種面積は前年割れと予測  
5月は東北地方の大豆播種はおおよそ終了したものの、気象条件があまりよくなく、大豆の発芽及び生長が比較的緩慢であった。  
トウモロコシなどと比較した大豆の栽培収益低下の影響を受け、2007年の中国の大豆播種面積は減少し、国家統計局の調査によると、大豆の意向播種面積は、前年比4.6%減の1.33億畝（畝：ムー／1畝＝15分の1ヘクタール）となった。
- 2 1～4月の大豆及び大豆油輸入、大豆粕輸出はいずれも増加  
海関統計によると、1～4月の中国の大豆輸入量は、前年同期比4.9%増の837.1万トンとなった。うち米国産は同22.8%増の651.1万トン、ブラジル産は同18.1%減の132.0万トン、アルゼンチン産は同49.5%減の53.6万トンとなった。同じく大豆輸出量は、同30.50%増の17.5万トンとなった。  
1～4月の大豆油輸入量は、前年同期比15.6%の79.2万トン、輸出量は同18.2%減の2.3万トンとなった。同じく大豆粕輸出量は同1.9倍の27.2万トン、輸入量は同95.9%減の2.0万トンとなった。
- 3 5月の国際大豆価格は明らかな上昇傾向、国産大豆価格は小幅に上昇

(1) 国際市場

米国農務省（USDA）によると、大豆播種面積の減少により、2007年の米国の大豆供給量は前年比8%減と予測されている。バイオ燃料ブームの継続により、大豆油に対する需要が高く、5月の国際大豆及び大豆製品価格は、明らかな上昇傾向を示した。5月25日までの米国シカゴ取引所における大豆の先物価格は、前月比10.1%高・前年同月比38.3%高の1トン当たり301.6ドル、大豆油は前月比7.8%高・前年同月比42.1%高の同796.9ドル、大豆粕は前月比9.6%高・前年同月比26.2%高の同243.7ドルとなった。

## （2）国内市場

国際市場における大豆価格上昇の影響に加え、農家出荷の端境期にあることから、5月の国内の大豆価格は、小幅ながら上昇した。5月23日までの黒龍江省における油用大豆販売価格は1トン当たり2,868円で、前月比0.7%高、前年同月比26.7%高となった。

5月の大豆油価格は引き続き高水準で推移し、小幅な上昇を示した。5月23日までの山東省における4級大豆油の工場出荷価格は、1トン当たり7,650円で、前月比1.3%高、前年同月比50.5%高となった。

また、食肉及び家禽卵価格の大幅な上昇により畜産業収益が上昇し、農家の家畜・家禽飼養意欲が積極方向に向いているため、飼料需要が増加し、大豆粕価格は上昇に転じた。5月23日までの山東省における中等大豆粕の工場出荷価格は、1トン当たり2,412円で、前月比8.9%高、前年同月比13.7%高となった。

## （3）輸入大豆価格は国産大豆よりやや高値

5月下旬における山東省の輸入大豆の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、国産大豆の仕入価格に比べ、1トン当たり120元前後高値であった。